

回文&折句

2026/1/28

こじままじこ

冷蔵庫の中にいるような寒いが続いています。ニュースで日本海側の豪雪の様子を見ますと正に日々雪との闘い。一方で、昨日近所の家の庭に梅の蕾を見つけました。同じ時期でこれほど風景が違うとは・・・。

さて、今回は回文、そして先日野本さんがラインにアップしてくださった「折句」に挑戦してみました。

【回文】

いたむみたいははのそのははいたみむたい

「痛むみたい、母のその歯は痛み無体」

だしなはったよとんぼうそたしかなきりんがにんじんにがんりきなしたそう
ほんとよたっぱなしだ

「出しなはったよトンボ、嘘『確かな、キリンが人参に眼力、泣かした』、
そう？ほんと？与太っ話だ」

いしがともにかしたくつにやだまたまたやにつくたしかにもどかしい

「医師が友に貸した靴に『やだ、またまたヤニ付く』確かにもどかしい」

いいこのあとたいといかもにわのわにかいといたとあのこいい

「『いい？このあと鯛とイカも庭の鰐も描いといた』とあの子言い」

このごかためとじとよだくんいうういんくだよとしとめたかこのこ

（この後片目閉じ、豊田君言う「ウインクだよ」と。仕留めたか、この娘）

【折句】

「お前の話」	「大げさすぎる」	「いつもそうだね」	「苦笑いして」
「笑い誤魔化す」	「来年僕は」	「王様になる！」	「嘘また出たよ」

⇒「おおいに笑おう」